

製品名: インテグリン α 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12665**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ITGA1
別名	Integrin alpha-1 (CD49 antigen-like family member A; Laminin and collagen receptor; VLA-1; CD antigen CD49a)
遺伝子 ID	3672.0
SwissProt ID	P56199
免疫原	アミノ酸 920~980 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

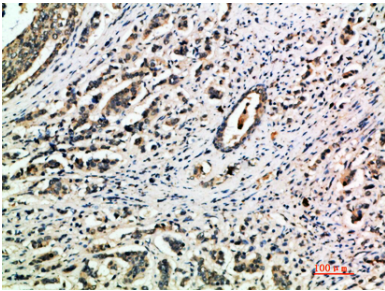
背景インテグリンサブユニット α 1 (ITGA1) ホモサピエンス この遺伝子は、インテグリン受容体の α 1 サブユニットをコードしている

す。このタンパク質は $\beta 1$ サブユニットとヘテロ二量体を形成し、コラーゲンおよびラミニンの細胞表面受容体を形成します。ヘテロ二量体受容体は細胞間接着に関与しており、炎症や線維症にも関与している可能性があります。 $\alpha 1$ サブユニットには、コラーゲン結合に関与すると考えられる、挿入された (I) フォン・ヴィレブランド因子 I 型ドメインが含まれています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、ドメイン: インテグリン I 型ドメイン (挿入) は VWFA ドメインです。I 型ドメインを持つインテグリンはプロテアーゼによる切断を受けません。機能: インテグリン $\alpha 1/\beta 1$ は、ラミニンおよびコラーゲンの受容体です。コラーゲン中のプロリン水酸化配列 G-F-P-G-E-R を認識する。類似性: インテグリン α 鎖ファミリーに属する。類似性: 1 つの VWFA ドメインを含む。類似性: 7 つの FG-GAP リピートを含む。サブユニット: α サブユニットと β サブユニットのヘテロダイマー。 $\alpha-1$ は $\beta-1$ と会合する。RAB21 と相互作用する。

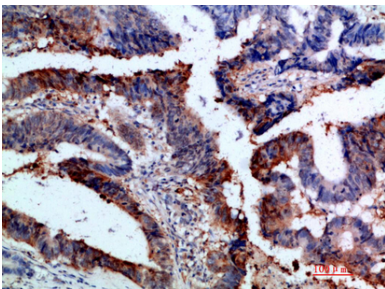
研究分野

接着斑、ECM-受容体相互作用、造血細胞系統、アクチンと細胞骨格の調節、肥大型心筋症 (HCM)、不整脈性右室心筋症 (ARVC)、拡張型心筋症。

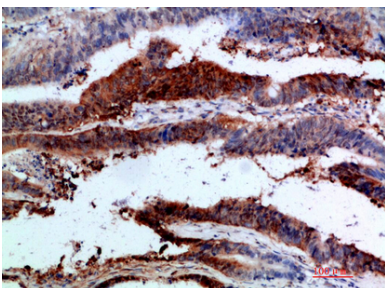
画像データ



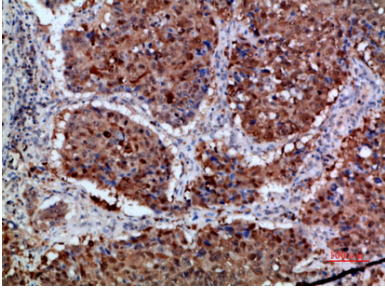
パラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



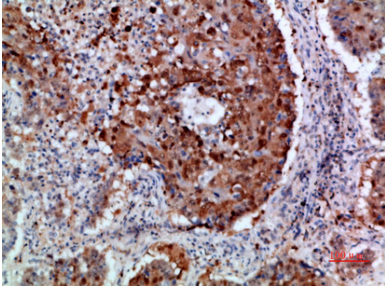
パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された